

予算の主な使いみち

★はマニフェスト

安心のまち蒲郡

総合窓口化(ワンストップサービス)の実施準備

証明発行、住民異動や戸籍異動の届出に関連するさまざまな手続きを、原則一つの窓口で受け付ける「総合窓口」を平成22年7月に開設します。そのため、今年度は総合窓口化に向けたシステムの構築などを行います。

★形原公民館の建設

形原町春日浦地内に、市民センターとの複合館ではない、社会教育施設として、単独の公民館を建設します。地域の人々が世代を越えて同じ場で共に学びあう生涯学習の中核的な役割を果たし、地域力をより一層高める拠点とします。

★(仮)障がい者歯科診療所開設

一般歯科医院では治療困難な障がい者の歯科診療を行う診療所を休日歯科診療所内に開設し、障がい者の福祉増進を図ります。

形原児童クラブの開設

形原小学校の教室を利用した児童クラブを開設します。これにより、全小学校区に児童クラブの設置が完了します。

自然と共生するまち蒲郡

移动式監視カメラの設置

最近、頻発している廃棄物の不法投棄対策として、抑止力のある監視カメラを投棄されやすい場所に設置し、監視の強化を図るとともに環境保全に努めていきます。

街路樹植替事業

自然に親しみ、快適な暮らしを支えてくれる森や緑。これらを都市にバランスよく整備、保全していくために、「あいち森と緑づくり事業」を活用して、形原町春日浦地域の顔となる美しい並木道を再生します。

明るく元気なまち蒲郡

市制55周年記念行事

記念すべき市制施行55周年にあたり記念式典を開催します。また、

市制55周年を祝う機運を高めるため、年間を通して関連行事を実施し、多くの市民の皆さんに参加していただきます。

第四次蒲郡市総合計画策定

平成13年に策定され、22年までの計画が盛り込まれた第三次総合計画にかわり、23年度以降の10年

間にわたる次期計画を策定します。また、道州制や地方分権などを踏まえ、基礎自治体として受け入れができるための指針や、広域行政の役割を示します。そして、現計画に盛り込んだ事業について、真に必要な事業を精査し、実態に応じた長期的な計画策定を行います。

…もし蒲郡市が給料収入500万円の家庭だったら…

蒲郡市の平成21年度一般会計当初予算を家計簿に置き換えてみました。

《蒲郡市の家計簿》

収入		支出	
給料(市税)	500万円	食費(人件費)	232万円
パート収入(使用料、手数料など)	33万円	医療費(扶助費)	139万円
家賃収入など(財産収入)	12万円	光熱費や通信費など(物件費など)	217万円
親からの仕送り(地方交付税、国・県支出金など)	195万円	子どもへの仕送り(繰出金)	74万円
貯金の取崩し(繰入金)	32万円	家・車・電化製品の修理・買替え(維持補修費、普通建設事業費)	139万円
銀行などからの借入金(市債)	99万円	借入金の返済(公債費)	108万円
雑収入(諸収入など)	39万円	貯金(積立金)	1万円
合計	910万円	合計	910万円

※借入金の残高(市債残高)
平成20年度末現在高見込 940万円
平成21年度末現在高見込 948万円

※貯金の残高(財政調整基金残高)
平成20年度末現在高見込 34万円
平成21年度末現在高見込 14万円